

稲城野草散策の会

野草スケッチ エゴノキ（エゴノキ科）



1996/05/30 稲城市坂浜 絵と文 Ta

植物スケッチを始めたのは1980年代の後半、ということはどこかで書いた。
1995年頃には、130枚くらいの絵を書き溜めていた。
それを丸ごと紛失してしまったのだ。
恥を忍んで、その話を書こう。

会報第90号 2012年6月10日発行 発行責任者 尼子 房夫

1995年の秋、パソコン通信仲間の植物観察会を千葉県で行った。
稲城市近辺での観察会とは違うメンバーが集まるので、それらの人々との出会いも楽しみだった。
出かける前にふと思いついて、スケッチ原画を収めたファイルをバッグに入れた。
皆に見てもらおうと思ったのだ。

千葉では地元在住のOさんの案内でフィールドを歩き、私が植物について説明する、というスタイルで行った。
野外での昼食時、皆にスケッチを見てもらった。
観察会が終わってから、場所を変えて「ささやか」がはじまった。
「ささやか」とは、「終わってから、ささやかに、お茶でも」などと言っていたものが、オチャケになり、ついには「盛大なささやか」に発展したものだ。
普通に言うところの宴会である。

ここでいささか飲みすぎた。
千葉から我が家までは遠い。
東京駅までは連れがいたし、終点だから良かったのだが、東海道線で寝てしまった。
バッグは網棚に上げた・・・と思う。
はっと気が付けば川崎駅。南武線へ乗換えだ。
あわてて飛び降りて、南武線に乗って、また寝てしまった。

矢野口駅で降りようとしたら、バッグが無い。
川崎で乗換える際に持って降りたような気がするのだが、定かでない。
もしかして東海道線に置いたままだったのだろうか。
駅に連絡して探してもらった。
駅の構内から外へ持ち出されたら警察の管轄になると言われて、交番へも届けた。

結局出てこなかった。
描き溜めた原画123点は私の手の届かないところへ行ってしまった。
図鑑数冊、双眼鏡、ルーペなども一緒である。
泣くに泣けない気持ちであった。

翌春、気を取り直してスケッチを再開した。

前回と同じ花をスケッチしていると、あのときはこう描いたっけ、ここの色付けが難しかった、などの記憶がよみがえる。

エゴノキは、水彩での色付けに悪戦苦闘していたころ、どうにかコツが掴めた、思い出の作品だった。

エゴノキの花は緑が濃くなり始めた雑木林の中で静かに咲く。

ふと見上げると、純白の花がいっせいに開いている。

だれかが「森のシャンデリア」と言っていたが、まさにそういう感じである。

散った花びらが敷き詰められた小径は、そこだけ雪が積もっているように見える。

そうってから、ああ、咲いていたのか、と気づくこともある。

エゴノキの花を見ていると、連想が「原画紛失」へ飛んでいく。

エゴノキの「白い花の咲く頃」は、ロマンチックとは程遠いが、ちょっぴり悲しい季節になってしまった。

(2001年6月記)

* * * * *

〔観察記録〕 5月13日 三沢川下り

三沢川下りは稲城の会の春の定例行事のようになっています。大抵の年は4月に開催されていますが、今年は趣向を変えて、5月開催となりました。それが吉と出るか凶と出るか、楽しみではあります。

13日は快晴で湿度も低く、絶好の観察日和となりました。若葉台駅に集合された方は53人、出発前に広沢さんから、去年は左岸川側を散策しましたが、今年は右岸を歩きますと案内がありました。

若葉台駅から三沢川に向かって下り、川を渡ったあたりからひとしきり観察を始めました。その後は稲城ふれあいの森に入ります。昨春はふれあいの森に入れなかったため、2年ぶりの訪問となりました。5月も半ば近い時期だったため、キンランは終わっているかもしれないと危惧していたのですが、なかなかどうして、まだたくさんの花が残っていました。ギンラン、ササバギンランもたくさん咲いていました。堂々の三役揃い踏みです。更には、そこらじゅうにクチナシグサが咲いていました。午後には別な場所でもクチナシグサの群落を観察できました。今年はクチナシグサの当たり年なのでしょうか。

キャンプ場で昼食タイムをとって、午後はふれあいの森の散策路を歩きます。北側の道も南側の道も、以前とはちょっと違うような印象を持ちました、ルートが変わったのでしょうか？ ふれあいの森を出た後は清水谷戸を観察してから、

とりあえず1回目の解散をしました。体力と時間のある方は、この後駒沢学園周辺の雑木林に寄り道してから稲城駅に向かいました。

今回も瀬戸さん、竹下さんをはじめ、会の運営にご協力いただいた皆様に深謝です。(とーはもん)

▼観察記録(番号順)

(1)イヌムギ、(2)アメリカフウロ(花)、(3)ユウゲショウ◆(花)、(4)アメリカオニアザミ◆(蕾)、(5)スズメノエンドウ(花)、(6)オオデマリ◆(花)、(7)コデマリ◆(花)、(8)オニウシノケグサ、(9)ノグシ(花)、(10)オニタビラコ(花)、(11)イチゴツナギ、(12)キュウリグサ(花)、(13)ヒゲナガスズメノチャヒキ◆、(14)コバンソウ、(15)スイバ(花)、(16)マスクサ、(17)ナガハグサ、(18)トキワハゼ(花)、(19)チガヤ、(20)イヌワラビ、(21)シラカシ、(22)ニガキ、(23)サワフタギ、(24)タマノカンアオイ(花)、(25)カジイチゴ、(26)ムラサキハナナ(花)、(27)オヤブジラミ(花)、(28)ヒロハギシギシ◆、(29)ウシハコベ(花)、(30)ノイバラ、(31)アオカモジグサ、(32)オカウコギ(花)、(33)アオツツラフジ◆、(34)ニシキギ、(35)ハンショウツル(花)、(36)コクサギ、(37)トボシガラ、(38)ウツギ(蕾)、(39)ヤマアジサイ(蕾)、(40)イヌショウマ、(41)アオイスミレ、(42)コゴメウツギ(花)、(43)イチリンソウ、(44)ハナイカダ、(45)ウグイスカグラ(実)、(46)オオジシバリ(花)、(47)ワニグチソウ(花)、(48)カニツリグサ、(49)ニセアカシア(◆花)、(50)ヤブタビラコ(花)、(51)ベニシダ、(52)ハリギリ、(53)シロダモ、(54)ヒメコウゾ(実)、(55)ツリバナ(花)、(56)ミズキ(花)、(57)ゼンマイ、(58)ホラシノブ、(59)ヤマイタチシダ、(60)ジュウニヒトエ(花)、(61)ニガナ(花)、(62)ナツツタ◆、(63)ミヤマナルコユリ(花)、(64)ナガバハエドクソウ◆、(65)ホウチャクソウ(実)、(66)キンラン(花)、(67)ツルニンジン、(68)ササバギンラン、(70)ヒヨドリジョウゴ、(71)シオデ、(72)ギンラン、(73)オカタツナミソウ(花)、(74)カシワバハグマ、(75)ミツバアケビ、(76)フタリシズカ(花)、(77)サジガंकビソウ◆、(78)アワブキ、(79)ヤマツツジ、(80)オカトラノオ、(81)キウイ◆、(82)ヤマユリ、(83)ナルコユリ(蕾)、(84)クチナシグサ(花)、(85)ウド、(86)ヒメカンスゲ、(87)ミゾシダ、(88)ウワミズザクラ、(89)マムシグサ(花)、(90)ナガバノスミレサイシン、(91)ヤマルリソウ、(92)ヤマトリカブト、(93)タチツボスミレ、(94)アカショウマ、(95)ヤマザクラ、(96)ホオノキ(花)、(97)イヌザクラ、(98)フモトシダ◆、(99)イノデ◆、(100)ヘビノネゴザ、(101)ホソバシケシダ、(102)オクマワラビ、(103)オオイタチシダ◆、(104)キツネアザミ(花)、(105)ハナイバナ(花)、(106)スイカズラ(蕾)、(107)タツナミソウ(花)、(108)ヤマホトトギス、(109)ウグイスカグラ(実)、(110)ゴンズイ、(111)イヌザンショウ◆、(112)サンショウ、(113)ガマズミ(蕾)、(114)ミゾイチゴツナギ、(115)エゴノキ、

(116)ジシバリ(花)、(117)ムラサキシキブ、(118)サルトリイバラ、(119)カリ
ン(実)、(120)カモガヤ、(121)エビツル◆、(122)キバナアキギリ、(123)カノ
ツメソウ◆、(124)カラスビシャク(花)、(125)ナワシロイチゴ(蕾)、(126)ワレ
モコウ、(127)イヌガラシ(花)、(128)ニワトコ、(129)ナガミヒナゲシ(花)、
(130)ヒメスイバ(花)、(131)ウラシマソウ(花)、(132)トウバナ(花)、(133)モ
ウソウチク◆、(134)ムサシアブミ◆(花)、(135)ヒレハリソウ、(136)カモシグ
サ、(137)ナガバギシギシ、(138)カナメモチ◆、(139)オオアマナ◆(花)、(140)
ヤブニンジン、(141)クサノオウ(花)、(142)ゲンゲ(花)、(143)セリバヒエンソ
ウ◆(花)、(145)コウヤワラビ、(146)ケキツネノボタン(花)、(147)ムカゴイラ
クサ、(148)サラシナショウマ、(149)カズノコグサ、(150)セトガヤ、(151)
カワラスゲ、(152)オヘビイチゴ、(153)コジュズスゲ、(154)マグワ、(155)
ヒゴクサ◆、(156)キキョウソウ◆

以下は1回目の解散以降に現れたもの

ミサキカグマ、オオバノトンボソウ、シュンラン、ヤマユリ、ヒトツバタゴ◆(花)、
シャクチリソバ、ツルマンネングサ、サギゴケ、ヤワラスゲ、コウガイゼキショ
ウ◆、メマツヨイグサ◆

(◆印は、お渡しした資料に記載されていなかったものです)

▼今回のコース

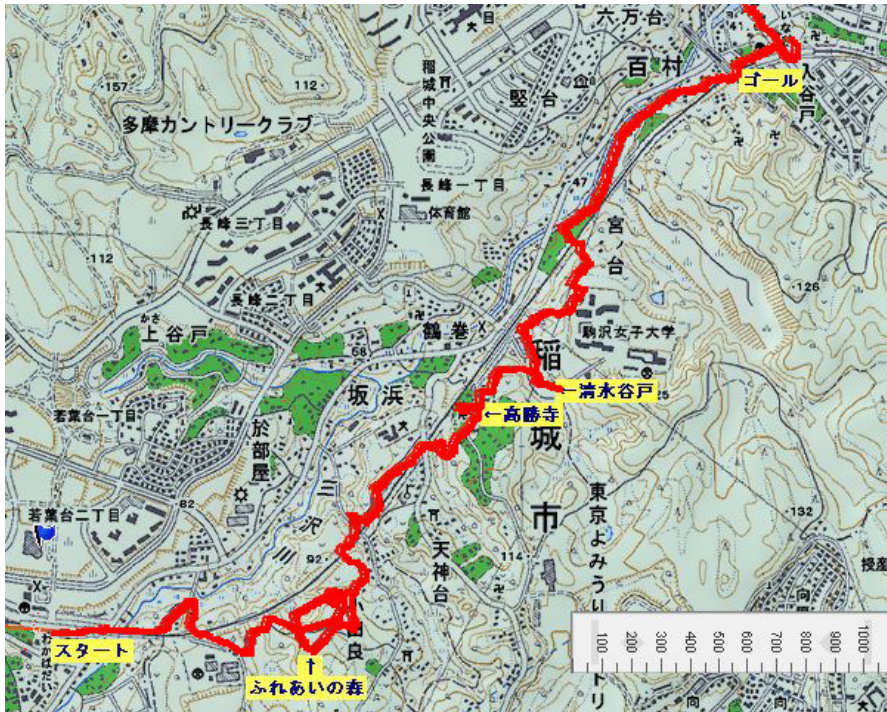
今回のコースは昨年入れなかった「ふ
れあいの森」に入れるということで、予
定していた前回と同じ三沢川左岸コース
を、「ふれあいの森」を通る三沢川右岸の
コースに変更しました。

「ふれあいの森」では、お目当てのキン
ランの花が見られましたが、クチナシ
グサの花やクチナシの実に似ているとい
う実が観察出来てよかったと思います。

- 右上 クチナシグサの花
- 右下 クチナシの実に似ているとい
うクチナシグサの実
(写真は大ざわさん)



今回のコース



〔行事予定〕 2012/6/10（日） 多摩森林科学園

項 目	説 明
集 合	am10時、多摩森林科学園「森の科学館」前付近 ※会旗目標
交 通	JR中央線快速、特別快速高尾行きまたは京王線高尾山口行きをご利用下さい JR中央線高尾駅北口から徒歩で多摩森林科学園に集合して下さい 途中、車の交通量が多いのでご注意ください
行く先 (解散場所)	多摩森林科学園内を観察します。多摩森林科学園 pm3時半頃解散予定
見所 その他	樹木の観察
地 図	公園の園内マップは下記のURLからご覧下さい http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/annai/map.jpg
コース	多摩森林科学園内を観察します。

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

なお、入園料300円は各自でお支払い下さい

〔行事予定〕 2012/7/28（土） 金剛の滝

項 目	説 明
集 合	am10時、JR五日市線武蔵五日市駅 改札口付近 ※会旗目標 JR五日市線武蔵五日市駅の改札口は一個所だけです
交 通	JR五日市線の終点です 新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速あきがわ号」が便利です。ホリデー快速時刻表 新宿発8：47→立川9：15→武蔵五日市着9：54。ホリデー快速の後ろ6両は奥多摩行きですので、前4両に乗ってください JR立川駅9：10→武蔵五日市駅9：40もあります
行く先 (解散場所)	JR五日市線武蔵五日市駅から金剛の滝へ 広徳寺経由で武蔵五日市駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	イワタバコ
地 図	
コース	武蔵五日市駅前→松原街道→沢戸橋→（昼食）→金剛の滝→広徳寺→武蔵五日市駅（解散）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日 300 円

〔行事予定〕 2012/8/19（日） 御岳山

項 目	説 明
集 合	am10時、JR青梅線・御嶽駅 改札口付近 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交 通	新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速・おくたま号」が便利です。ホリデー快速立川発・・・8:47、9:15 ホリデー快速の前4両は五日市行きですので、後ろ6両に乗ってください
行く先 (解散場所)	天狗岩まで行って戻る予定です（下の地図を参照ください） 御嶽駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	ケーブルの終点、御岳山駅は831mの標高があり、関東平野が一望できます 今回のお目当てはレンゲショウマです
地 図	
コース	御嶽駅→（バス）→滝本駅→（ケーブルカー）→御岳山駅→ビジターセンター→御岳神社→長尾平（昼食）→七代の滝→天狗岩→御岳神社→神代櫓→御岳駅→（ケーブルカー）→滝本駅→（バス）→御嶽駅（解散） 行程4～5km程度です 多少のアップダウンがあり、七代の滝から天狗岩の間はややきつい コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

※なお、御嶽駅～滝本駅間のバス代、ケーブル代は各自でお支払い下さい